



# 船頭のひとりごと



自然をこよなく愛するサラリーマン釣り師のきままな釣行記

## vol.3 夜焚きイカのシーズン

さて、今回の「船頭のひとりごと」は平成30年6月22日の釣行を書きたいと思います。

本格的な夜焚きイカシーズンとなり、週末の海の状況が気になる中、知り合い（半分漁師）からケンサキイカの状況がかなり上向いているとの電話がありました。

こうなったらもう、頭の中はケンサキイカ一色です。

さて、漁り火によるイカ釣り、これは夏の風物詩でもあります。漁り火が海面に反射してきらめく様子は、幻想的な雰囲気です。また、灯りには様々な生物が集まり、プランクトンから小魚、それを補食するイカから大型魚まで海中はお祭り騒ぎになります。私にとってケンサキイカ釣りは、食味も含め非常に好きな釣りです。

一般的にイカ釣りというと、『漁』のイメージがあると思いますが、近年では、非常にゲーム性の高い『イカメタル』という釣り方が流行しています。

釣れたから、釣ったへ。

イカは魚のように口でエサをくわえるのではなく、触腕でエサを捕獲しに来るのでそれを察知し的確に掛けに行きます。

その繊細さ、テクニカルさ、また十分に数も釣れ、食味も抜群ということで人気を博しています。

尚、仕掛けは、写真のようなドロPPERを付けたイカメタル仕掛けをベイトタックルとスピニングタックルを活性に合わせて使い分けます。また、大型狙いや食い渋りでスローな状況が効く時には、遊導式キス天秤を介したエサ巻き仕掛けを使用します。



イカメタルの仕掛け  
(左:ドロPPER 右:鉛スッテ)



イカメタルのリール  
(ベイトタックル)



イカメタルのリール  
(スピニングタックル:  
レバーブレーキ付き)



エサ巻き仕掛けと  
誘導式キス天秤

どちらにせよ、今までの電動リールを用いた胴付き仕掛けより、  
道具も軽く扱いやすいため、初心者にもお勧めの釣り方となります。

さて、18時30分、港を出港。

約20分で、水深50mの砂地が広がる中の岩礁帯のポイントに到着です。

実は、当初はもっと沖のポイントを予定していましたが、予想外に風が吹いていたので、安全第一と言うことで近場のポイントに場所を変更しました。

昨日は夏至であり、太陽が沈み灯りを点すのは、20時過ぎになります。

よって、それまでの時間は、夕飯の弁当を食べたり、タイラバサビキ

(タイラバの上方にサビキを3本ほど付ける)でアジや根魚を釣って時間を潰します(同船者)。

私は、イカメタルのスピニングタックルにブレード付きの小型ジグを付けて遊びました。

何投かあと、ボトムより約10mで当たり。

上がってきたのは、20cm程度のアジ。

その後、同船者とアジ子~30cm強のアジ釣りを楽しんだ後、20時10分、いよいよケンサキイカ釣りがスタートです。

ポイントは岩礁帯から、徐々に砂地へと深くなっていく斜面です。

最初は水深15mから小刻みにフォール、ステイを繰り返しながらボトムまで探っていきます。

開始5分後、魚群探知機にベイトの反応が徐々に集まりだした頃、水深25mラインでフォールが止まる。

すかさず合わせを入れて巻き上げると、小型のケンサキイカ。

見た瞬間に『身が柔らかくて美味そう』と思ってしまいました。

それからはコンスタントに当たるものの、入れ掛かりにはなりません。

この時間帯は、イカメタルよりドロッパーの浮きスツテに乗ってきます。

その後、少し活性が落ちたのでエサ巻きにチェンジ。

すると、当たりが頻繁にあります。が、何やら変。



浮きスツテ、鉛スツテ、エサ巻き  
明るい時の状況



浮きスツテ、鉛スツテ、エサ巻き  
暗い時の状況



30cmクラスのアジ



日も暮れいよいよスタートです



美味しそうですが、  
微妙なサイズです

なんと、中層までエソが浮いてアタックしてきます。

しかしながら、エソをかわせれば、低活性時に強いエサ巻きは、ケンサキイカに抜群の威力を発揮します。

釣りを続けていると、徐々にサイズアップもしてきました。

この頃から、水面にはケンサキイカの姿が見えだしました。

こうなると、スローな釣りよりも早い釣りが良いだろうと、

スピニングタックルを用いたイカメタルにチェンジです。

スピニングタックルでは、ベイトに比べ軽めの仕掛けを使い、レバーブレーキの逆転を使いながら、フォールの当たりを取っていきます。

これがツボにはまったのか、鉛スツテに連続ヒット。

軽く投げてのカーブフォールなども織り交ぜ、当たりが集中する

水深18m～25m間をを集中的に攻めます。

24時30分、十分な数を釣ったのと、少し風も強くなり当たりも遠のいたのでこの日の釣りは終了しました。

イカは調理も簡単で色々な料理に使えます。また、冷凍保存も利くので釣れるときにしっかりと釣り、ストックしておきたいものです。

帰宅したのは、26時前。風呂に入り、ワールドカップを見ながら明け方に就寝しました。

ケンサキイカは近所に配った他、刺身、天ぷらで美味しく頂きました。

◎ 今回の一曲は…

今回ご紹介する曲は「塩谷哲」のアルバム「SALT II」から

「Eart Beat（大地の鼓動）」です。

この曲のスケール感は、言葉になりません。

音楽シロートの私が言うのも失礼ですが、彼は天才だと思います。

皆様は、どのような贅沢な時間を過ごされていますか？



エサ巻きだけでなく、浮きスツテにもエソが来ます



美味そうです



エサ巻きにはキビナゴを使いますが、このエサは日暮れ前に釣れたサバ子



興奮状態で赤色です



本当に美味そうです